

プロトコール名		1クールの日数	放射線治療
頭頸部癌術後 放射線併用weekly CDDP療法		7日	□なし ■あり
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)		
day1	① 生理食塩水500mL ② グラニセトロンバッグ1mg + デキサート9.9mg + アロカリス235mg ③ シスプラチン 40mg/m <sup>2</sup> + 生理食塩液500mL ④ 10%塩化ナトリウム2g/20mL + 硫酸Mg補正液1mEq/mL 8mL + ソルデム3A 1000mL		
day2	① デキサート6.6mg + 生食50mL ② 生理食塩液 1000mL		
day3	① デキサート6.6mg + 生食50mL ② 生理食塩液 1000mL		
コメント	最大7コース.60-70Gyの放射線併用.		

プロトコールに関する解説
<p>手術時の所見や術後の顕微鏡での所見によって、再発のリスクが高いと判断された方に、術後補助療法として行う治療です。放射線治療をしながら、毎週決まった日にシスプラチンという抗がん剤の点滴を行います。以前まではシスプラチンを3週毎に100mg/m<sup>2</sup>投与する化学放射線療法が術後補助療法の標準治療でした。しかし吐き気・腎機能障害などの副作用が強く、長期の入院が必要となるなどの問題があり、シスプラチンの用量を40mg/m<sup>2</sup>に減らし毎週投与する化学放射線療法と比較する臨床試験が行われました。その結果、本療法は標準療法に比べて全生存期間で劣らないこと、急性期にみられる副作用が軽いことが示され、新たな標準治療として認識されています。腎機能や副作用の程度によって、減量や休薬などの調整が必要となる場合があります。</p>